

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

971

観光基盤整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		観光基盤整備事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 岩坂 真弓 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	安全・安心で快適観光施設の整備を進め、おもてなしの向上を図る。		観光案内板の設置及び修繕、雑賀崎灯台周辺、和歌浦観光遊歩道、友ヶ島砲台跡の整備を行い、おもてなしの向上を図る。		
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
	○観光案内板の更新・新設 ○雑賀崎灯台の周辺整備	○観光案内板の更新・新設 ○雑賀崎灯台の周辺整備 ○和歌浦観光遊歩道の整備	観光案内板の更新・新設、雑賀崎灯台の周辺整備、和歌浦観光遊歩道の整備、友ヶ島砲台跡の整備	観光案内板の更新・新設、和歌浦観光遊歩道の整備、友ヶ島砲台跡の整備等	観光案内板の更新・新設

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	14,153	2,750	22,853	9,679	78,905	94,305	22,000	0	22,000	0	
伸び率(%)	1%	△76.7%	61.5%	252%	245.3%	874.3%	△72.1%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,541	12,842	12,868	12,548	12,726	12,484	12,484	0	12,484	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,541	12,842	12,868	12,548	12,726	12,484	12,484	0	12,484	0
国庫支出金	0	0	9,404	2,190	36,433	34,260	7,500	0	7,500	0	
県支出金	1,000	0	861	0	0	0	2,000	0	2,000	0	
市債	10,700	2,000	10,200	2,400	37,300	47,100	11,200	0	11,200	0	
その他	0	0	0	0	0	510	0	0	0	0	
一般財源(税等)	2,453	750	2,388	5,089	5,172	12,435	1,300	0	1,300	0	
所要人数(人)	正規職員	0.82	1.61	1.61	1.57	1.58	1.55	1.55	0.00	1.55	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	看板等製作委託料 1,723千円、整備工事請負費 77,182千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	観光案内板、雑賀崎灯台周辺の整備、和歌浦観光遊歩道の整備、友ヶ島砲台跡の整備	件	目標値		3	6	5	3
			実績値	0	2	5		
			達成度(%)	0%	66.7%	83.3%	%	
			達成度(%)					
成果指標	年間観光客数(暦年)	千人	目標値	6660	6830	7000	7030	7060
			実績値	6511	6686	6904		
			達成度(%)	97.8%	97.9%	98.6%	%	
			達成度(%)					
	友ヶ島来島者数	人	目標値	64000	68000	71600	75280	78960
			実績値	86329	67920	62385		
			達成度(%)	134.9%	99.9%	87.1%	%	
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	快適で安全な観光地づくりに取り組み、本市の観光資源の魅力を向上させる。
見直し・改善内容	観光案内板の新設・更新など観光施設の整備をし、おもてなしの向上を図る。